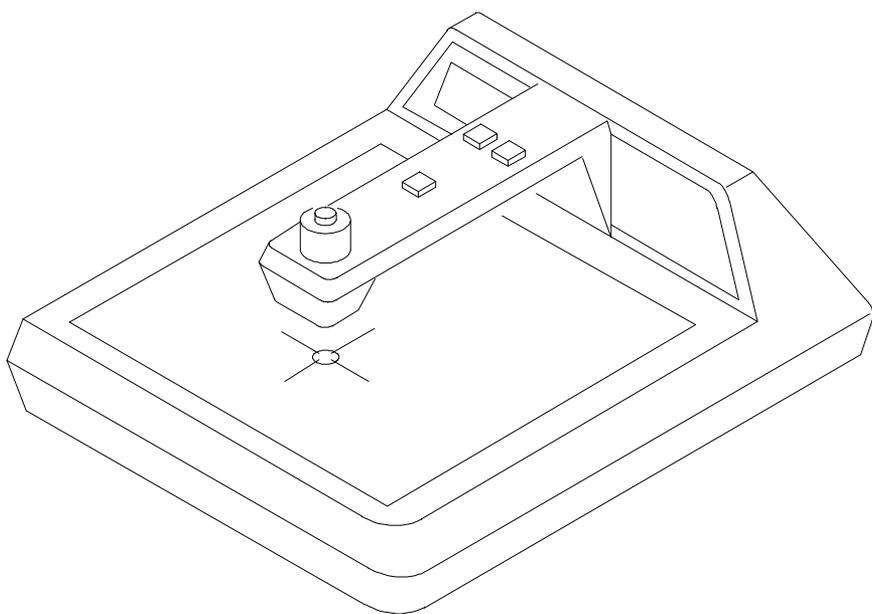


361T

白黑透過濃度計



使用說明書



Federal Communications Commission Notice (カナダ)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

NOTE: Shielded interface cables must be used in order to maintain compliance with the desired FCC and European emission requirements.

Industry Canada Compliance Statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

AVERTISSEMENT : Des câbles d'interface blindés doivent être utilisés afin de se conformer aux règlements européens et FCC (USA) sur l'émission.

CE DECLARATION (ヨーロッパ)

Manufacturer's Name:	X-Rite, Incorporated
Manufacturer's Address:	X-Rite, Incorporated Siemensstraße 12b 63263 Neu-Isenburg • Germany Phone: +49 (0) 61 02-79 57-0 Fax: +49 (0) 61 02 -79 57-57
Model Name:	Densitometer
Model No.:	361
Directive(s) Conformance:	EMC 89/336/EEC LVD 73/23/EEC



廃棄物処理の手順：廃電気・電子機器指令（WEEE）の対象となる機器製品は指定の収集場所にて廃棄してください。

注意： 電気ショックを防ぐために、カバーは絶対に外さないでください。内部のパーツはユーザー先では修理できません。お求めになった販売店にお問い合わせください。

注意： 火災を防ぐために、必ず同じ種類の時間遅延ヒューズで交換を行ってください。

目次

1. 概要と設置	1-7
機器の説明	1-7
機能	1-8
開梱と検査	1-9
電源およびディスプレイのコントラスト調整	1-9
ディスプレイ (EL) のバックライト	1-10
2. ユーザー インタフェース	2-1
キーの説明	2-1
機能	2-1
COLOR	2-1
ZERO	2-1
DISPLAY CONTRAST	2-2
機能の選択	2-2
カラーの選択	2-3
基準値およびベースの入力	2-4
キーパッドを使用した濃度基準値の入力	2-4
測定による濃度基準の入力	2-4
ベース入力	2-5
測定手順：一般	2-5
表示メッセージ	2-5
311 Emulation (エミュレーション)	2-6
3. 測定手順	3-1
濃度機能	3-1
測定濃度	3-1
測定差測定	3-1
+DOT 機能	3-1
+DOT 測定	3-1
-DOT 機能	3-2
-DOT 測定	3-2
シーケンス (工場出荷状態は無効に設定されています)	3-2
4. キャリブレーション	4-1
概説	4-1
キャリブレーションの頻度	4-1

濃度キャリブレーションの確認.....	4-1
濃度のキャリブレーション手順.....	4-1
アミ点範囲のキャリブレーション手順.....	4-3
Nファクターの調整手順.....	4-3
Quick CAL™ 手順.....	4-5
5. モードの選択	5-1
概説	5-1
x10 ON/OFF.....	5-1
I/O ポート選択.....	5-2
シーケンス構成の設定.....	5-4
測定ランプの ON/OFF	5-6
6. メンテナンス	6-1
一般	6-1
外側の清掃	6-1
アパーチャーの交換および清掃.....	6-2
アパーチャーの交換.....	6-2
アパーチャーの清掃.....	6-2
ビームスプリッターの清掃.....	6-3
オブチクスの清掃.....	6-3
ランプ交換	6-4
調整の確認.....	6-5
ヒューズの交換	6-7
7. 付録.....	7-1
仕様	7-1
オプション器具	7-3

著作権表示

本使用説明書は X-Rite, Incorporated が有する特許および独自のデータによる著作物です。本使用説明書は、本機器の使用およびメンテナンスに使用する目的のみに作成されています。

本使用説明書の内容および複製物についての権限は X-Rite, Incorporated が有します。お客様は本説明書のいかなる部分も複製できません。本機の設定、操作、維持以外の目的で本説明書を使用することはできません。X-Rite, Incorporated から書面での許諾を取得せずに、本書類のいかなる部分も、電子、磁気、機械、光学、手動等の形式を問わず、複製、複写、送信、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ用語に翻訳することはできません。

本製品は、1 つ以上の特許を取得済みです。特許番号は本体に表示されています。

Copyright © 2013 by X-Rite, Incorporated

ALL RIGHTS RESERVED

X-Rite® は、X-Rite, Incorporated の登録商標です。その他、記載されているロゴ、商標名、製品名は各社の登録商標です。

限定保証

X-Rite は、本製品に対して X-Rite からの出荷日から 12 ヶ月の構成および製造の保証を提供します。保証期間内は欠陥部品を無償で交換または修理いたします。

X-Rite の保証は、次から発生する保証製品の欠陥を除きます。(i) 出荷後の損害、事故、乱用、誤使用、放置、変更等の X-Rite の推奨、付属書類、公表仕様、業界基準に沿わない使用。(ii) 推奨される仕様以外の操作環境における装置の使用、または X-Rite が提供する保守手順書や公表仕様に準拠しない場合。(iii) X-Rite または認定された会社以外による修理またはサービス。(iv) X-Rite より製造、流通、承認されていない部品や消耗品の使用により発生した保証製品の欠陥。(v) X-Rite より製造、流通、承認されていない付属品または修正が保証製品に追加された場合。また、消耗品および製品の手入れは保証に含まれません。

上記保証の破損に対する X-Rite の限定義務は、いかなる部品の無償修理または交換とし、保証期間内に欠陥品と証明され、かつ X-Rite が合理的に納得できるものに限ります。X-Rite による修理または交換により保証期間は回復されず、また保証期間は延長されません。

X-Rite より指定されたサービスセンターに欠陥製品を送付される際は、梱包および郵送はお客様の自己負担となります。製品の返送費用は、X-Rite のサービスセンターが担当する地域のみ、X-Rite が負担いたします。指定地域外の場合、郵送料、関税、税金等の全ての費用はお客様の自己負担となります。保証期間中にサービスをお受けになる場合は、領収書などの購入日を証明する記録が必要です。本製品は絶対に分解しないでください。ユーザーにより分解された場合、製品保証は無効となります。装置が作動しない、あるいは正しく機能しないと思われる場合は X-Rite の東京サービスセンターまでお問い合わせください。

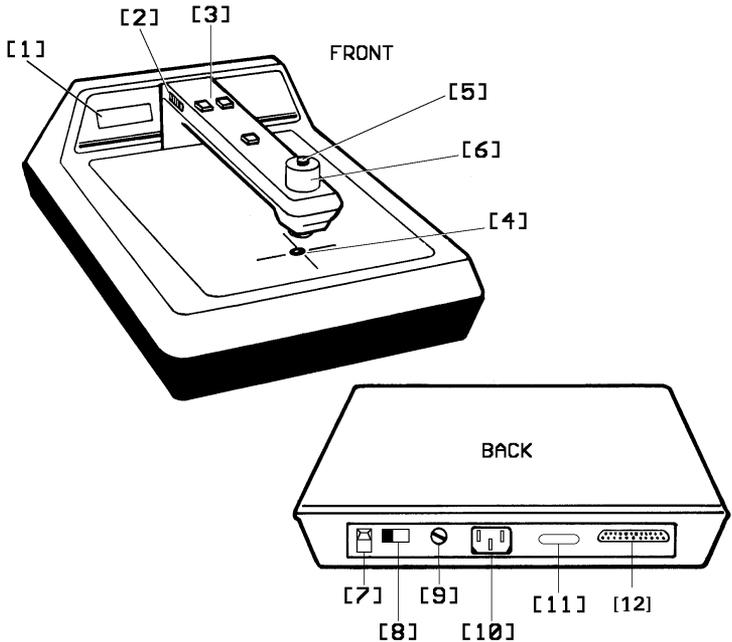
これらの保証は購入者にのみ適用されるもので、暗示・明示を問わず、市販性、特定目的や用途への適合性、非侵害性の暗示された保証を含む、またそれに限らず他の保証すべてに代わるものです。X-Rite の経営陣以外の社員または代理店は、前述以外のいかなる保証も提供することが承認されていません。

X-Rite はお客様の製造コスト、経常経費、利益の損失、信用、その他の費用、および契約いかなる保証の破損、過失、不正行為、その他の法理による間接的、特別、付随的、重要な他の損害に責任を負いません。いかなる場合においても、これによる X-Rite の責任は、X-Rite が供給した商品またはサービスの価格を上限とします。

概要と設置

機器の説明

エックスライト社の 361T は、グラフィックアート業界の品質管理のニーズにお応えする白黒透過濃度計です。361T は、エックスライト社がグローバル市場で認識されている最新テクノロジーの構成部品を取り入れた製品です。



[1] ディスプレイ = 8 文字 LCD

[2] ディスプレイコントラスト調整 = ディスプレイのコントラストを調整する機能

[3] キーボード = 機能、カラー、操作の選択に使用する 3 つのキー

[4] アパーチャー = フィルムを中央に設定するエリア

[5] **測定ボタン** = 測定時に測定ヘッドを下げるために使用します。

[6] **測定ヘッド** = 測定時にフィルムと接触するオプチクスを含む構成部品。

[7] **電源スイッチ** = 機器の電源を ON または OFF にします。

[8] **電圧切替スイッチ** = 115V または 230V を選択します。

[9] **ヒューズホルダ** = 適切なヒューズを収容します。

[10] **電源入力** = 115V/230V AC コードの挿入口。

[11] **反射ヘッド入力** = オプション製品の反射用ヘッドを接続する際に使用します。（セクション 7 「オプション器具」参照）

[12] **I/O ポート** = RS232 双方向シリアルコミュニケーションに使用します。

機能

電子フィルタ選択 = 機械的フィルタホイールにより発生する問題を解消します。

大型 LCD および エレクトロルミネセント使用のバックライト = 最も優れた判読性を提供します。

大きく少数のキー = 実用的に配置されており、使いやすさを発揮します。

シーケンス = ジョブ条件を満たすため、測定の繰り返し作業を設定します。シーケンス構成が設定されると、361T は手順ごとに機能を自動的に選択し、次の各手順に進みます。（最大 36 までの手順）×10 機能は、極端な分析が必要な時に余分の一桁を表示します。

RS232 インターフェース & RCI = (リモートコントロール インターフェース) コンピュータの品質管理システムおよび電子プリンタを使用する際に、双方向インターフェースを提供します。

ランプタイマー = 有効に設定されている場合、機器が 2 時間以上未使用状態になった際に自動的に OFF になります。これにより、測定ランプの寿命が延長されます。

Ortho (オルソ) および UV = 幅広い種類のフィルムを測定します。

濃度 = 濃度および濃度差を測定します。

+Dot は、ベースアミ点に合わせることで、正のアミ点測定値を可能にします。**+DOT** は、0%アミ点に等しいベースで計算するか、あ

るいは一つのアミ点に等しい値（例：3%）に調整することもできます。

-Dot は、ベースアミ点に合わせることで、負のアミ点測定値を可能にします。+DOT は、100%アミ点に等しいベースで計算するか、あるいは一つのアミ点に等しい値（例：97%）に調整することもできます。

開梱と検査

納入時の梱包から機器を取り出し、傷がないか調べてください。もし何らかの傷が付いている場合は、直ちにお買い求めになった販売店にご相談ください。また、その際は製品のインストールはご遠慮ください。

機器は、損傷を防ぐために特別な箱で梱包されています。修理などに機器を再梱包して出荷される時は、この梱包箱を使用して、元通りに梱包してから出荷してください。

電源およびディスプレイのコントラスト調整

注記： 機器が正常でない（寒い）環境で保管されている場合は、正常な環境（10～30 - C）で数時間経過するまで電源を入れないでください。

注意： 機器の安全性・安定性を維持するためには、付属の電源コードを改造しないでください。接地した 3 ワイヤ式コンセントに接続してください。

1. 正しい電圧が選択されていることを確認してください。（必要に応じて 115 V または 230 V に切り替えます。）電源コードの雌端を 361T の裏側に挿入した後、もう一つの片方をコンセントに挿入します。

注記： 電圧設定が変更された場合、正しいヒューズ、ヒューズキャリア、電源コードを使用する必要があります。115 VAC には [ヒューズ SE24-0060、ヒューズキャリア SE71-05、コード SD33-07] 230 VAC には [ヒューズ SE49-0030、ヒューズキャリア SE71-06、コード SD33-08] を使用します。

2. ディスプレイコントラスト調整を中間に設定します。
3. 電源スイッチを「1」（ON）に設定します。ディスプレイのデータが見やすくなるまで、「Display

Contrast」でディスプレイコントラストを調整してください。

4. 電源を入れると、機器にソフトウェアの日付コードが表示されます。次に診断テストが行われます。全てが正常であれば「TST Pass」が表示されます。

注記： 診断テストに合格しなければ、考えられる原因を示すエラーが表示されます。「セクション 2 のディスプレイ メッセージ参照」

5. 診断テストに合格すれば、機器は自動的に最後に実行された機能に戻ります。（例：DEN、+DOT、-DOT）

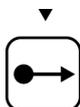
ディスプレイ（EL）のバックライト

この機能は、室内照明が暗い時にディスプレイをバックライトで照明します。エレクトロルミネセント（EL）バックライトは、機器が 10 分以上未使用状態になった場合は OFF になり、測定を実行するまたはいずれかのキーを押すと ON に戻ります。

ユーザー インタフェース

キーの説明

キーボードには [FUNCTION] ↓ キー、[COLOR] ⇄ キー、[ZERO] 0 キーが付いています。



機能

- 濃度、+Dot、-Doit を選択します。

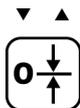
注記：シーケンス機能は、工場出荷状態時に無効に設定されているため、機能選択時には表示されません。シーケンスを有効に設定するには、セクション 5 の「シーケンス構成の設定」をご覧ください。

- [ZERO] キーと併用すると、数値が減少します。
- [COLOR] キーと同時に押して、キャリブレーションまたはモードを入力します。



COLOR

- 通常の作業に Ortho あるいは UV フィルタを選択します。
- [ZERO] キーと併用すると、数値が増加します。
- [FUNCTION] キーを同時に押して、キャリブレーションまたはモードを入力します。



ZERO

- 測定中に濃度またはアミ点をゼロに設定します。
- [FUNCTION] または [COLOR] と併用し、数値を入力します。

注記：機能の選択時または作業の途中で分からなくなった場合、メイン機能に戻るまで [FUNCTION] キーを繰り返し押し続けてください。



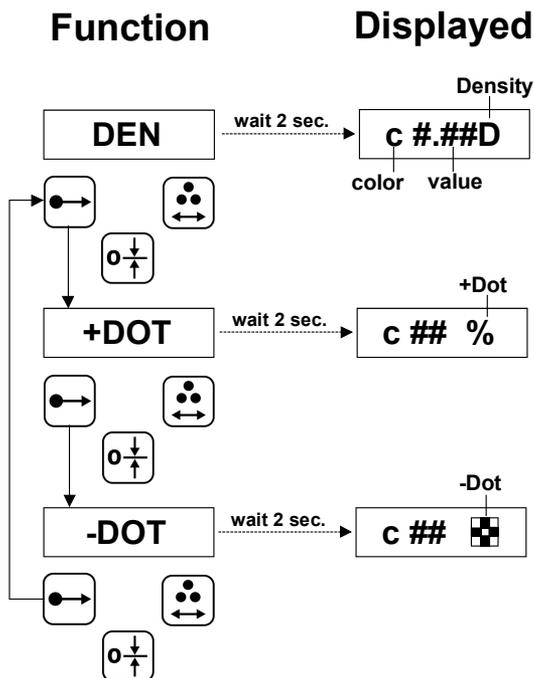
DISPLAY CONTRAST

- ホイールを後方 (+) に回してコントラストを上げるか、あるいは前方 (-) に回してコントラストを下げます。



機能の選択

[FUNCTION] キーは通常、DEN、+DOT、-DOT の 3 つの機能からいずれか 1 つを選択します。[FUNCTION] キーを押してそれぞれの機能を選択します。使用する機能が表示されたら、361T に選択された機能が適用されるまで待ってください。(約 2 秒間) この時点では、最後の測定値が表示されます。



シーケンス機能が有効に設定されている場合、シーケンスは -DOT および DEN の間に表示されます。

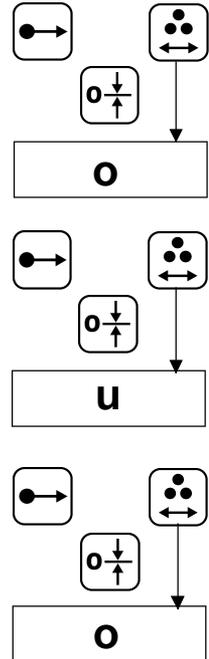
注記：有効に設定できる機能が DEN のみの場合は、「311 Emulation」から Off の設定方法を参照してください。



カラーの選択

[COLOR] キーは Ortho または UV のいずれかのカラーを選択します。[COLOR] キーを押すことで、いずれかの機能を選択します。Ortho には「o」、紫外線には「u」が表示されます。

[COLOR] キーを押すことで、「o」（Ortho）または「u」（紫外線）のいずれかの機能を選択します。



基準値およびベースの入力

基準値とは、濃度差を表示するために各濃度値から差し引く値です。アミ点がベースアミ点またはフィルムベースフォグのゼロに設置されている場合、ベース値は、+Dot または-Dot が前もって設定されたアミ点サイズを表示するように機能します。

キーパッドを使用した濃度基準値の入力

1. 「DEN」が表示されるまで [FUNCTION] キーを繰り返し押しします。
2. [COLOR] キーを押しながらカラーを選択します。
3. [ZERO] を押し下げます。（手順 4 まで）
 - 「REF」が表示されます。
 - 基準値が表示されます。
4. [FUNCTION] キーを使い値を下げる、または [COLOR] キーで値を上げて基準値を入力します。（ゼロにリセットするには両方のキーを押します。） キーを離します。
5. [FUNCTION] を押して、通常の操作に戻ります。

測定による濃度基準の入力

測定範囲をゼロに設定 (Null) しながら、[ZERO] を押しします。

1. 「DEN」が表示されるまで [FUNCTION] を繰り返し押しします。
2. [COLOR] を押しながらカラーを選択します。
3. ゼロに設定する濃度を測定し、[READ] ボタンを押し下げた状態にします。（手順 4 まで）
4. 「Density value of density being measured (濃度値が測定されています)」が表示されます。
5. [ZERO] キーを押してください。
6. 「Zero density」が表示されます。
7. [READ] と [ZERO] キーを離します。

ベース入力

通常ベース値は+DOT に 0%、-DOT に 100%が設定されている、あるいは最低（ベース）アミ点到に匹敵する値に調整されています。（例：+DOT には 3%、-DOT には 97%）

1. 「+DOT」または「-DOT」が表示されるまで [FUNCTION] を繰り返し押します。
2. [COLOR] を押しながらカラーを選択します。
3. [ZERO] キーを押し下げます。（手順 4 まで）
 - ベース値が表示されます。
4. [FUNCTION] キーを使って低いベース値を入力する、または [COLOR] キーで値を上げて基準値を入力します。（ゼロにリセットするには両方のキーを押します。） キーを離します。
5. [FUNCTION] を押して、通常の操作に戻ります。

測定手順：一般

1. 機能およびカラーを選択してください。
2. 測定場所の中央にアパーチャーを合わせます。
3. 測定ボタンを押しながら測定ヘッドを下げます。測定中は「READING」が表示されます。
4. データが表示されたら測定ボタンを離します。

注記：測定ボタンを押す時間が十分でないと「INVALID」が表示されます。

表示メッセージ

メッセージ	原因
BATTERY:	バックアップ用バッテリーのメモリが機能しませんでした。リチウム電池を指定サービスセンターで交換する必要があります。
INVALID:	測定ボタンを押す時間が短かったため、測定が無効になりました。測定ボタンを正しく押し下げても「INVALID」が表示されたり、測定中に「READING」が通常より長い間表示される場合は、側面センサー、測定ヘッドアセンブリ、または透過 PCB の不良が考えられます。
LAMP FAIL:	測定ランプが強度テストに失敗しました。測定ランプの交換が必要かどうか調べてください。このエラーは

メッセージ	原因
	解除することができます。(ランプが正常または交換されている場合) [FUNCTION] を押した後、[COLOR]、そして [FUNCTION] を押しください。
MEM TEST:	システムのメモリの集中チェックが行われています。「MEM TEST」がそのまま表示される場合は、ディスプレイ PCB を交換する必要があることを表します。
MEM LOST:	システムのキャリブレーションが失われたため、再キャリブレーションが必要です。
NEED CAL:	システムの完全キャリブレーションを実行してください。
uP FAIL:	マイクロプロセッサはメモリ検査に失敗しました。PCB ディスプレイを指定サービスセンターで交換する必要があります。

311 Emulation (エミュレーション)

311 EMULATION が ON に設定されていると、361T は I/O ポートおよびエックスライト社の 311/RS 濃度計のいくつかの機能を再現します。モードは次のように設定されています。x10 OFF、I/O Port [RCI ON, RPT OFF, P5 OFF, BAUD 1200, HDR OFF, DPT OFF, CR, COMP OFF, X OFF]、SEQUENCE OFF、READ LAMP ON。操作機能は次のように設定されています。DENSITY 操作のみアクセス可能で、MODES は無効に設定されています。

注記： 311 Emulation にアクセスするには、必ず AC 電源を入れ直し、「311 off」が表示されるまで FUNCTION および COLOR キーを押し下げた状態にします。

311 エミュレーションは以下のように設定します。

1. 361T の電源を OFF にします。
2. 「311 OFF」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し、AC 電源を ON にします。
3. [ZERO] キーを押すことで、311 が ON・OFF に切り替わりません。
4. [FUNCTION] を 1 度押して、通常の操作に戻ります。

測定手順



濃度機能

DEN 機能は、濃度および濃度差を測定します。各手順は以下の通りです。

測定濃度

1. 「DEN」が表示されるまで [FUNCTION] キーを繰り返し押しします。最後の濃度が表示されます。
2. カラー (Ortho または UV) を選択します。
3. フィルムを測定します。濃度値が表示されます。

測定差測定

1. 「DEN」が表示されるまで [FUNCTION] キーを繰り返し押しします。最後の濃度が表示されます。
2. カラー (Ortho または UV) を選択します。
3. 基準値を入力します。キーボードまたは測定による基準値の入力は、セクション 2 の「基準値およびベース値の入力」をご参照ください。
4. 比較するフィルムを測定します。濃度差が表示されます。



+DOT 機能

+DOT 機能は、ベースアミ点値に合わせることで、正のアミ点測定値を可能にします。+DOT は、0%アミ点に等しいベースで計算するか、あるいは一つのアミ点サイズに等しい値 (例: 3%) に調整することもできます。通常 +DOT はポジフィルムに使用します。

+DOT 測定

1. 「+DEN」が表示されるまで [FUNCTION] を繰り返し押しします。最後のアミ点値が表示されます。
2. カラー (Ortho または UV) を選択します。
3. フィルムのこの範囲を測定しながら、[ZERO] を押して本体をフィルムのベースアミ点またはベースフォグに対してゼロに設定します。
4. フィルム上のアミ点範囲を測定します。+DOT 値が表示されます。



-DOT 機能

-Dot は、ベースアミ点に合わせることで、負のアミ点測定値を可能にします。+DOT は、100%に等しいベースで計算するか、あるいは一つのアミ点に等しい値（例：97%）に調整することもできます。通常 +DOT はネガフィルムに使用します。

-DOT 測定

1. 「-DEN」が表示されるまで [FUNCTION] キーを繰り返し押しします。最後のアミ点値が表示されます。
2. カラー（Ortho または UV）を選択します。
3. フィルムのこの範囲を測定しながら、[ZERO] を押して本体をフィルムのベースアミ点またはベースフォグに対してゼロに設定します。
4. フィルムを測定します。-DOT 値が表示されます。「+DEN」が表示されるまで [FUNCTION] を繰り返し押しします。最後のアミ点値が表示されます。

シーケンス（工場出荷状態は無効に設定されています）

シーケンス機能は、ジョブ条件を満たすために測定の繰り返し作業を設定します。シーケンス構成が設定されると（設定手順はセクション 5 の「シーケンス構成の設定」を参照）、361T は手順ごとに機能を自動的に選択し、次の各手順に進みます。シーケンス機能を使用中は、測定ボタンを押して次の手順に進みます。また 361T は、▼▲ [ZERO] キーを押し下げながら次のキーを使用して手順を前進したり後進したりすることができます。

▼ [FUNCTION] キー = 後進

▲ [COLOR] キー = 前進

重要： 各シーケンス手順では、測定中に濃度値/アミ点値が表示されます。（測定ボタンが押された状態）測定ボタンを離すと、次の測定手順が表示されます。最後に測定された濃度値/アミ点値を表示する場合は [ZERO] キーを押し、[ZERO] キーを再度押して元の画面に戻ります。

注記：シーケンス機能を使用中は、ディスプレイに表示される各測定値が正しいことを確認してから、測定ボタンを押して次の手順に進みます。

下記は、2 つの手順を使用し、手順 1 から始まるシーケンス手順例を示します。シーケンスを入力する際は、機能は常に実行可能な一番最初の手順から開始されます。

1. 「SEQUENCE」が表示されるまで [FUNCTION] キーを繰り返し押します。（SEQUENCE が表示されない場合は、セクション 5 の「シーケンス構成の設定」をご参照ください。）最初に測定する FUNCTION、COLOR、STEP が表示されます。
2. カラー（Ortho または UV）を選択します。
3. 測定を行います。
4. 測定ボタンを押し下げた状態にすると、測定値および手順番号が表示されます。測定ボタンを離すと、手順 2 が表示されます。
5. 2 回目の測定を行います。
6. 測定ボタンを押し下げた状態にすると、測定値および手順番号が表示されます。

* 測定ボタンを離すと、印刷するかどうかのメッセージが表示されます。印刷する場合は [COLOR] を押します。印刷しない場合は [ZERO] または [FUNCTION] を押します。

注記：

- 1) 「PRINT? C」は、シーケンスのプリントアウト手順がモード設定で CLASS または ORDER に選択されている場合のみに表示されます。EACH が選択されていると、測定（手順）後に毎回自動的に印刷されます。（セクション 5 の「シーケンス構成の設定」をご覧ください。）
- 2) Step 00 に「ZERO 00」が設定されている際は、Den、+Dot、または -Dot に同じ（ゼロ）基準値が使用されます。
- 3) Zero（基準）値は、Step zero（00）のみに対し、全ての濃度ステップ、+Dot ステップ、-Dot ステップに共通しています。その他全ての手順においては、本体がゼロに設定されていると、ゼロ作業はその手順に選択された機能のみに適用します。

セクション 3

キャリブレーション

概説

エックスライト社の 361T は、長寿命および極めて安定した測定を発揮するよう設計されています。品質管理を常に行うには、濃度およびアミ点のキャリブレーションを定期的に行い、測定精度および本体の性能を確認してください。濃度キャリブレーションの確認・実行用に、キャリブレーションされた透過基準板が付属しています。透過基準板は、約 0.06D（手順 1）から 4.0D（手順 5）の 5 段階のグレースケールが付いています。

キャリブレーションの頻度

通常の操作では、1 週間に 1 回、あるいはキャリブレーションのメッセージが表示された時に、機器のキャリブレーションを実行してください。

濃度キャリブレーションの確認

濃度キャリブレーションを調べるには、本体をゼロに設定し、透過基準板の「cal」手順を測定します。測定値が指定された濃度の 0.02D 内であれば、本体が正しくキャリブレーションされていることを表します。そうでなければ、キャリブレーションをやり直してください。（セクション 4 の「濃度のキャリブレーション手順」をご覧ください。）

注記：透過基準板の手順 4 (CAL) はキャリブレーションに使用し、手順 1、2、3、5 は本体のリニアリティーを確認する際に使用します。



濃度のキャリブレーション手順

透過基準板を持つ時は、必ず両側からはさむようにして持ってください。測定範囲に指紋や汚れが付くと、エラーが発生します。柔らかいラクダ毛製ヘアブラシ以外でほこりを取ったり、表面を清掃すると、濃度値が変更する可能性があります。冷暗所に保管して、このような変更要素を防いでください。

1. 「NDcal Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し下げます。

2. YES として [ZERO] キーを押してください。[N QCal Y] が表示されます。
3. NO として [FUNCTION] キーを押してください。
4. Ortho のキャリブレーション Hi 値が表示されます。（値が正しければ手順 6 に進みます。）
5. Ortho に正しい Cal Hi 値を入力するには（step tablet に表記されている通りに）、▼▲（ZERO）を押し下げた状態で ▼（FUNCTION）キーを使用して値を減少する、あるいは ▲（COLOR）キーを使用して値を増加します。次に、両方のキーを離します。
6. [COLOR] キーを押して UV キャリブレーション値を選択します。UV の Cal Hi 値が表示されます。（値が正しければ手順 8 に進みます。）
7. UV に正しい Cal Hi 値を入力するには（step tablet に表記されている通りに）、▼▲（ZERO）を押し下げた状態で ▼（FUNCTION）キーを使用して値を減少する、あるいは ▲（COLOR）キーを使用して値を増加します。次に、両方のキーを離します。
8. [COLOR] キーを押してください。
9. テーブルから全てのフィルムを取り出し、測定を行います。測定中に「Cal LO」値が表示されます。
10. 測定ボタンを離します。
11. 透過基準フィルムのキャリブレーションパッチを測定します。測定中に「CAL HI」にセットされた値が表示されます。測定ボタンを離すと、ディスプレイは自動的に「DEN」に戻ります。



アミ点範囲のキャリブレーション手順

注記：このキャリブレーション手順は、ソフトウェアの日付コードが 8718 以降の機器のみに適用します。アミ点範囲のキャリブレーションは、より正確なアミ点範囲の測定を可能にします。アミ点範囲のキャリブレーションを正しく実行するには、精密な 50%アミ点範囲を持つアミ点基準値（例：UGRA プレート コントロール ウェッジ、RIT マイクロライン レゾリューション ターゲット等）を使用することが大切です。下記は、アミ点範囲のキャリブレーション手順例です。濃度キャリブレーションを最初に実行または確認する必要があります。

1. 「NDcal Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し下げます。
2. 濃度のキャリブレーションを実行しない場合は、No として [FUNCTION] を押します。
3. アミ点範囲のキャリブレーションを実行するには、Yes として [ZERO] を押します。
4. [COLOR] キーを押してカラー（Ortho または UV）を選択します。
5. フィルムのベース範囲を測定します。測定ボタンを離すと、「READ 50%」が表示されます。
6. フィルムのアミ点 50%を測定します。測定ボタンを離すと、ディスプレイは通常の「+Dot」に戻ります。



N ファクターの調整手順

注記：透過アミ点「N ファクター」は工場出荷状態にキャリブレーションされているため、ユーザーによるキャリブレーションは必要ありません。

しかし、特定のアミ点範囲のキャリブレーションを実行するには、精密な 50%アミ点範囲を持つアミ点基準値（例：UGRA プレート コントロール ウェッジ、RIT マイクロライン レゾリューション ターゲット等）を使用することが大切です。工場出荷状態時

に Ortho および UV に事前に設定された N ファクターを、下記に記録してください。

ortho Nファクター_____ u.v. Nファクター_____

アミ点の N ファクターは次の手順で調整します。

1. 「NDcal Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押します。
2. 濃度のキャリブレーション手順をスキップするには、[FUNCTION] キーを押します。
3. [ZERO] キーを押して、アミ点のキャリブレーション手順に入ります。
4. [COLOR] キーを押して、Ortho (o) または UV (u) を選択します。
5. フィルムのベース範囲を測定します。「READING」が表示された後、「0%」のアミ点値が表示されます。測定ボタンを離すと、「READ 50%」が表示されます。
6. [COLOR] キーを押して N ファクターメニューを入力します。
7. 必要であれば、[COLOR] キーを押して Ortho (o) または UV (u) を切り替えます。
8. [ZERO] キーを押し下げながら N ファクターを調整します。繰り返し ▲ (COLOR) キーを押して値を増加するか、あるいは ▼ (FUNCTION) キーで値を減少します。
9. 調整後、[FUNCTION] キーを押して N ファクターを終了します。



Quick CAL™ 手順

QuickCal™ は、ゼロを簡単に再設定します。（低キャリブレーション）ゼロ（低キャリブレーション）は時間の経過に伴う変動の主なファクターであるため、この機能が含まれています。

1. 「NDcal Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し下げます。
2. YES の場合は [ZERO] キーを押してください。
3. YES の場合は [ZERO] キーを押してください。
4. テーブルから全てのフィルムを取り出し、測定を行います。
5. 測定ボタンを離すと、ディスプレイは自動的に「DEN」に戻ります。

モードの選択

概説

モードでは、x10 On/Off、I/O Port set-up (I/O ポート設定)、Sequence setup (シーケンス設定)、Read Lamp On/Off (測定ランプ On/Off) の 4 つの機能コントロールがあります。工場出荷状態ではモードは次のように設定されています。

1. x10 [OFF]	3. SEQUENCE	SQ [OFF]
		COL [ADJ]
2. I/O PORT		SQ [ORDER]
RCI [ON]		SIZE [36]
RPT [OFF]		SKIP [00] (Skip Step 0)
P5 [OFF]		FUNCTION STEP [all set to DEN]
BAUD [1200]		
HRD [OFF]	4. READ LAMP [ON]	
DPT [ON]		
COMP [ON]		
CR [LF]		

上記の設定のいずれかを変更するには、セクション 5 の設定手順 (x10 On/Off、I/O ポート設定、シーケンス構成、測定ランプ) に沿って行ってください。

注記：モード選択でどのモードにもアクセスできない場合は、セクション 2 の「311 Emulation」を参照し、311 Emulation を Off に設定してください。

x10 ON/OFF

x10 機能が有効に設定されていると、極端な分析が必要な時に少数点の一桁が追加されます。

1. 「NDcal Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し下げます。
2. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
3. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
4. YES の場合は [ZERO] キーを押してください。
5. x10 を ON または OFF に設定するには、[ZERO] を押しってください。
6. [FUNCTION] を 4 回押して、通常の操作に戻ります。

I/O ポート選択

エックスライト社の 361T と外部の装置間でデータの読み込み・書き込みを可能にするシリアルポートが付いています。

- **RCI** [リモートコントロール入力] は、I/O ポートで 361T を外部的にコントロールする能力を有効または無効に設定します。
- **RTP ON/OFF** [基準値の印刷] は、印刷時に基準値の印刷を有効または無効に設定します。
- **P5** は、I/O ポートの Pin 5 状態を決定します。Pin 5 は、OFF、BUSY または CTS (消去→送信) に設定できます。
[注] 通常 Pin 5 を使用しない場合は、OFF に設定します。
- **BAUD RATE** は、I/O ポートの出力率 (1 秒ごとの文字数) を決定します。使用可能な出力：300、600、1200、2400、4800、9600、OFF
- **HDR** [ヘッダー] は印刷時にヘッダー (DEN、+DOT、-DOT、TRANS、×10) を有効または無効に設定します。ON の時は、ヘッダーが印刷されます。OFF の時は、ヘッダーが印刷されません。
- **DPT** [少数点] は、印刷時に少数点を有効または無効に設定します。ON の時は、小数点が印刷されます。OFF の時は、少数点が印刷されません。
- **CR / CR LF** [キャリッジリターン / キャリッジリターン、改行] は、データの各行の最後で区切り記号を変更します。**CR** の時は、データ行の最後にキャリッジリターンが送信されます。**CR LF** の時は、データ行の最後にキャリッジリターンと改行が送信されます。
- **COMP** [コンピュータ出力] は、I/O ポートの出力形式を変更します。ON の時は、データ値の各グループの後にスペースが表示されます。OFF の時は、データ値の各グループの後にスペースが表示されません。

注記： <SP>=Space (スペース)、<CR>=Carriage Return (キャリッジリターン)、<LF>=Line Feed (改行)

- **X ON / X OFF** : 現在使用できません。

I/O ポートのオプションを設定する手順が下記に示されています。

1. 「NDcal Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し下げます。
2. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
3. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
4. YES の場合は [ZERO] キーを押してください。
5. [FUNCTION] を押しすと、「↓ I/O Y」が表示されます。
6. [ZERO] を押しして RCI に進みます。[ZERO] キーを押す度に、RCI が ON・OFF に切り替わります。
7. [FUNCTION] を押しして FUNCTION RPT に進みます。[ZERO] キーを押す度に、RPT が ON・OFF に切り替わります。
8. [FUNCTION] を押しして P5 に進みます。[ZERO] キーを押す度に、P5:Busy、CTS、OFF に切り替わります。
9. [FUNCTION] を押しして BAUD に進みます。[ZERO] キーを押す度に、BAUD 2400、4800、9600、OFF、300、600、1200 に切り替わります。
10. [FUNCTION] を押しして FUNCTION HDR に進みます。[ZERO] キーを押す度に、HDR が ON・OFF に切り替わります。
11. [FUNCTION] を押しして FUNCTION DPT に進みます。[ZERO] キーを押す度に、DPT が ON・OFF に切り替わります。
12. [FUNCTION] を押しして FUNCTION COMP に進みます。[ZERO] キーを押す度に、COMP が ON・OFF に切り替わります。
13. [FUNCTION] を押しして FUNCTION CR に進みます。[ZERO] キーを押す度に、CR LF と CR に切り替わります。
14. [FUNCTION] を 4 回押しすと、361T は通常の操作に戻ります。

シーケンス構成の設定

シーケンスは、品質管理条件を満たすため、測定の繰り返し作業を設定します。シーケンスには最大 36 までの手順があり、各手順の機能を選択することができます。

- **SQ OFF/ON** は、SEQUENCE を使用中の機能としてメインメニューに表示するかどうかを設定します。
- **COL ADJ/LOC** は、シーケンス過程でどの色のレスポンスが使用されるかを調整 (ADJ)、または 1 つのレスポンスにロック (LOC) する際に使用します。
- **SQ order/class/each** は、データの印刷方法を決定する際に使用します。
 1. **order** = 全てのデータを順次的な手順番号によって転送します。
 2. **class** = データを機能タイプによって転送します。
(例: DEN、次に+Dot、そして-Dot)
 3. **each** = 各手順の測定後にデータを転送します。
- **SIZE1-36** は、1 から 36 手順のシーケンスサイズを設定します。
- **FUNCTION Den/+Dot/-Dot/Skip** は、各シーケンス手順に使用される機能を設定します。

注記： SKIP は測定しない手順に使用しますが、フィルムの実際の手順番号と関連させるために手順番号 (測定中および印刷中) が必要です。SKIP として設定する手順はシーケンスの操作中表示されず、ディスプレイはその手順をスキップしますが、実際に測定するはずの手順をそのまま指定します。例えば、手順 2 と 5 を SKIP として設定した場合、361T は 1、3、4、6、7 のシーケンスを表示します。

シーケンス構成の設定手順は以下の通りです。

1. 「NDca] Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し下げます。
2. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
3. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
4. Yes の場合は [ZERO] キーを押してください。
5. [FUNCTION] を 2 回押すと、「↓ SEQ Y」が表示されません。
6. [ZERO] を押して SQ に進みます。[ZERO] キーを押す度に、SQ OFF と SQ ON に切り替わります。
注記：「←SQ OFF」が表示された場合、[FUNCTION] を押すとディスプレイは手順 4 に戻ります。
7. [FUNCTION] を押して COL に進みます。[ZERO] キーを押す度に、COL LOC と COL ADJ に切り替わります。
8. [FUNCTION] を押して SQ に進みます。[ZERO] キーを押す度に、SQ class、SQ each、SQ order を参照します。
9. [FUNCTION] を押して SIZE に進みます。▼▲ (ZERO) を押し下げながら、手順を ▼ (FUNCTION) で減らすか ▲ (COLOR) で増やします。
10. [FUNCTION] を押して DEN 00 (手順 00) に進みます。
11. 「←SKIP 00」が表示されるまで [COLOR] キーを繰り返し押します。(これにより、手順 00 は操作中にスキップされます。) または [←ZERO 00] を選択し、濃度計をフィルムベースのゼロに設定する特別の手順 0 を有効にします。
12. ▼▲ (ZERO) を押し下げた状態で、▲ (COLOR) を 1 度押しして手順 1 に進みます。キーを離します。
13. [COLOR] を繰り返し押しして、手順に必要な機能 (DEN、+DOT、SKIP) を選択します。
14. ▼▲ (ZERO) を押し下げた状態で、▲ (COLOR) を 1 度押しして手順 2、3、4 に進みます。
15. [FUNCTION] を 3 回押すと、361T は通常の操作に戻ります。

測定ランプの ON/OFF

この機能は、濃度計が 2 時間以上未使用状態になった際に測定ランプを自動的に OFF にします。透過ランプを OFF にすることで、ランプを交換するまでの寿命を延長します。ランプは、いずれかのキーや測定ボタンを押した時、または「M、P、U、Y」の RCI コマンドを実行した時に ON になります。LAMP ON は、機器に電源が入っている間にランプが ON 状態で維持されます。LAMP OFF は、透過濃度計が 2 時間以上未使用状態になった際にランプを OFF にします。

1. 「NDcal Y」が表示されるまで、[FUNCTION] および [COLOR] キーを同時に押し下げます。
2. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
3. NO の場合は [ZERO] キーを押してください。
4. YES の場合は [ZERO] キーを押してください。
5. [FUNCTION] を 3 回押すと、「LAMP ON」に進みます。
。
6. [ZERO] キーを押す度に、LAMP OFF と LAMP ON に切り替わります。
7. [FUNCTION] を 1 回押して、通常の操作に戻ります。

メンテナンス

一般

お買い上げになったエックスライト社の 361T は、1 年間の製品保証（消耗品を除く）が付いています。保証期間中に修理の必要があると思われる場合は、販売店にご相談ください。お客様が自ら修理を行った場合はこの保証は無効となります。

機器を正しく使用するために、キャリブレーションを常に確認してください。全ての接続が正しいかどうか確認してください。

修理はエックスライト社の関連施設にて行います。万一修理が必要となった際は、販売店までご連絡ください。

また保証期間経過後も、引続き有償での修理を行います。修理に出される際の輸送料は、お客様でのご負担とさせていただきます。また、機器は自分で修理を試みずにそのまま元の箱に戻してご返送ください。

定期的なメンテナンス手順として、測定ランプは 1200 時間毎に交換してください。これにより、約半年間の使用が可能になります。（週に 5 日間、8 時間の使用に基づく）これを怠った場合、間違った濃度値が出力される可能性があります。エックスライト社では予備の透過用測定ランプを提供しています。このランプは指定サービスセンターで交換する必要があります。

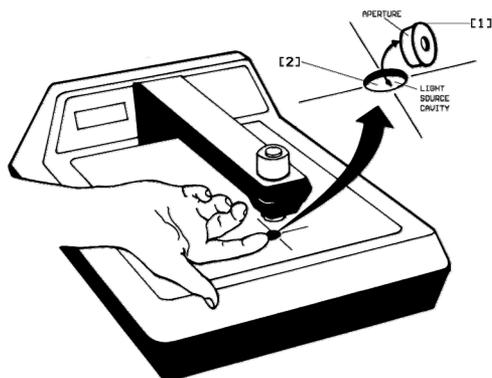
外側の清掃

機器の外側を清掃する際は、絶対に液体（水や溶剤）を使用しないでください。機器の外側は、必要に応じて乾いた布（レンズクリーナー等）で拭いてください。

アパーチャーの交換および清掃

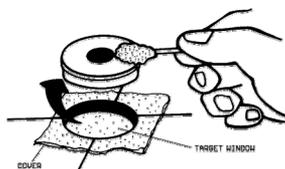
アパーチャーの交換

1. アパーチャー [1] は、ウェッジ端を指先で押し上げて取り外します。
2. アパーチャーを再度インストールするには、ターゲットウィンドウ [2] にアパーチャーを挿入し、表面に平らになっていることを確認してください。



アパーチャーの清掃

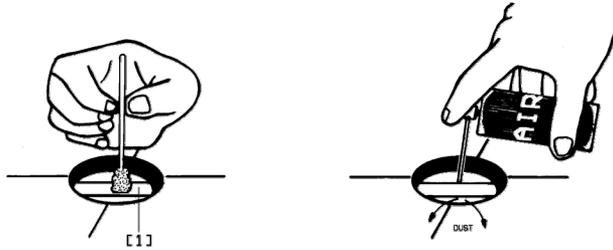
1. 上記の通りにアパーチャーを取り外します。
2. 消毒液を付けた綿棒でアパーチャーを清掃します。
3. アパーチャーを再度取り付けます。



注記：アパーチャーの清掃時は、必ずターゲットウィンドウをおおってください。

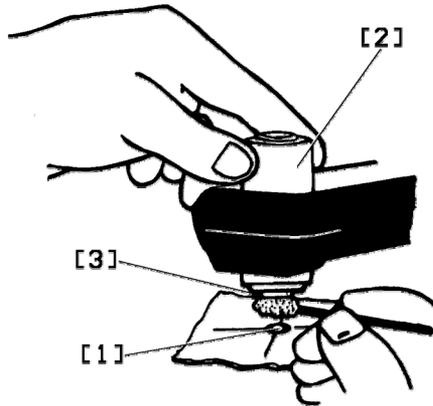
ビームスプリッターの清掃

1. 「外側の清掃」の通りにアパーチャーを取り外します。
2. ビームスプリッター [1] の残留物を綿棒で清掃します。
3. ターゲットウィンドウに空気を入れて埃を取り除きます。



オプチクスの清掃

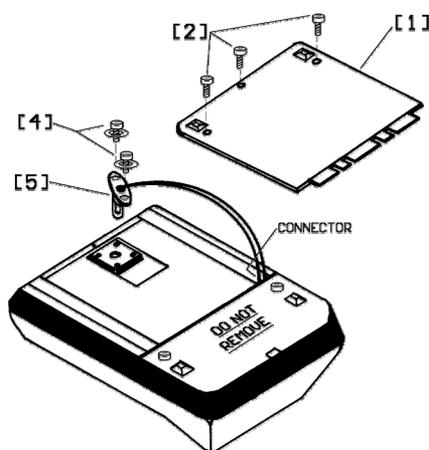
1. アパーチャー [1] にビニールをかぶせてください。
2. ヘッド [2] を上に持ち上げます。
3. オプチクス [3] の残留物や埃を、消毒液を付けた綿棒で拭き取ります。



ランプ交換

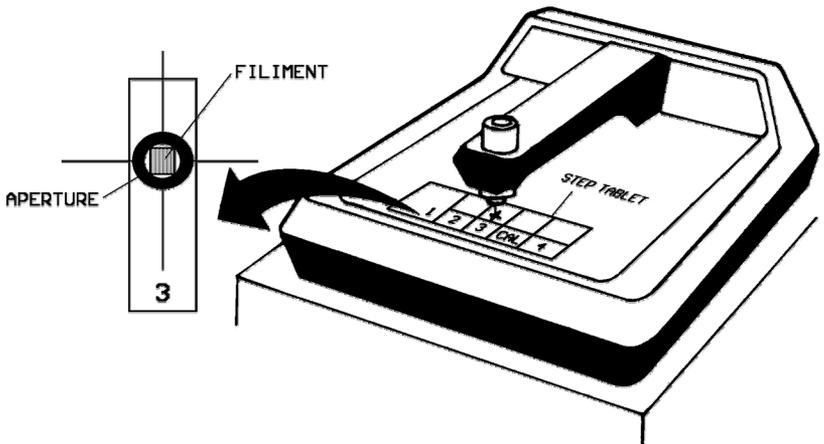
定期的なメンテナンス手順として、測定ランプは 1200 時間毎に交換してください。これにより、約半年間の使用が可能になります。（週に 5 日間、8 時間の使用に基づく）これを怠った場合、間違った濃度値が出力される可能性があります。エックスライト社では予備の透過用測定ランプを提供しています。このランプは指定サービスセンターで交換する必要があります。

1. コンセントから電源コードを取り外します。
2. 機器を裏返しにし、カバー前方から 3 本のねじ [2] を緩めて大きな底カバー [1] を取り外します。
3. 基板からランプコネクタを取り外します。（小さな底カバー下）
4. ランプアセンブリの底部からプラスねじ 2 本 [4]（ワッシャー付き）を外してランプアセンブリを取り出します。ランプアセンブリ [5] は廃棄してください。
5. 新しいランプアセンブリ [5] をプラスねじ 2 本 [4] およびランプに付属する 2 つのフラットワッシャーで固定します。
6. ランプコネクタを基板に挿入します。
7. ランプ調整を確認します。（次のページを参照）



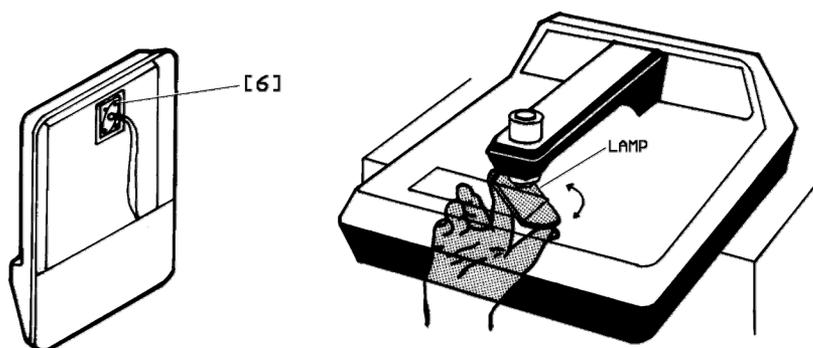
調整の確認

8. 本体をまっすぐに設置し、電源コードをコンセントに挿入した後、電源スイッチを「ON」にしてください。
9. 透過基準板（キャリブレーションに使用）の「3」または「CAL」をアパーチャーの中央に設定します。（3mm アパーチャーを使用してください。）
10. アパーチャーの丸から照明が見えることを確認してください。アパーチャー中央に、ランプのフィラメントが四角に見えます。
11. ランプが正しく調整されている場合、電源コードを取り外し、本体を裏返しにした後、手順 2 で外した 3 本のねじで底カバーを固定します。ランプが正しく調整されていない場合は、手順 12 から 16 を実行してください。



調整の確認 (続き)

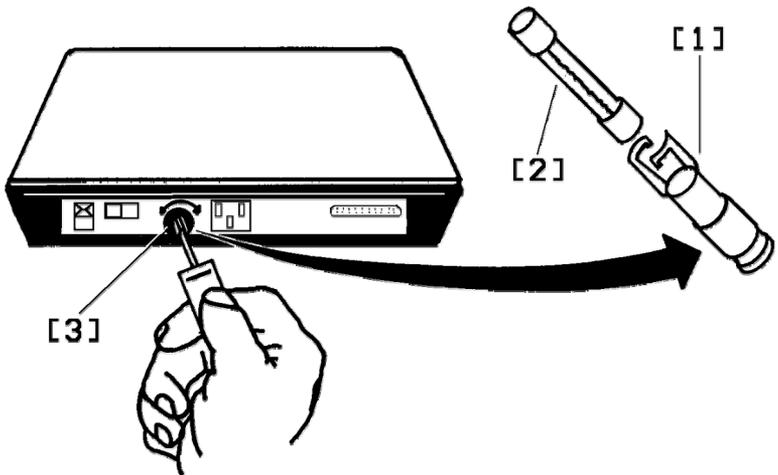
12. 電源コードを取り外し、ランプアセンブリ底のプラスねじ [6] を緩めます。
13. 本体前方の半分をテーブル外に設置し、電源コードをコンセントに挿入してください。
14. ランプフィラメントがアパーチャーの中央になるまで、ランプアセンブリをゆっくり動かしてください。
15. 調整後、電源コードを取り外し、一からランプアセンブリ底のプラスねじ [6] を締めます。この時、ランプアセンブリが調整位置からずれないように気を付けてください。
16. 手順 2 で取り外した 3 本のねじで底プレートを固定します。



ヒューズの交換

[最初に電源コードをコンセントから取り外してください。]

1. フラットブレードのスクリュードライバーをヒューズキャップ [1] に挿入します。
2. ヒューズ [2] とヒューズキャップが外れるまで、反時計方向に半回転させます。
3. ヒューズキャップからヒューズを外し、同じ種類のヒューズを取り換えます。
 - 115 vac 使用 (600ma 250v 3AG Slo-blo、パーツ番号 SE24-0060)
 - 230 vac 使用 (300ma 250v タイプ T Time Lag、パーツ番号 SE49-00300)
4. ヒューズをヒューズキャップに挿入し、ヒューズをヒューズホルダに挿入した後、ヒューズキャップが固定するまで時計方向に半回転させます。



セクション 7

付録

仕様

パラメータ

表示

測定範囲

濃度

% アミ点範囲

基準範囲

DOT 以外全て

+DOT (Fringe)

-DOT (Fringe)

キャリブレーション

ゼロ

スロープ

アミ点

精度

Ortho、Visual

2.3mm アパーチャー

1mm アパーチャー

U.V.

3mm アパーチャー

反復性

Ortho、Visual

2.3mm アパーチャー

1mm アパーチャー

U.V.

3mm アパーチャー

器差

ゼロ安定度

スロープ安定度

ウォームアップ時間

光学幾何条件

仕様

8文字 LCD、高さ 9.4MM、EL バック
ライト付き

0 ~ 6.0D

0 ~ 100% (ポジ&ネガ)

測定可能な全ての値

-10% ~ +69%

+31% ~ +110%

デジタル式。バックアップ用リチウム電池
付属。

自動

濃度に使用可能

50% の点

±0.02D (0~5.0D)、±1% (5.0~
5.5D)、±2% (5.5~6.0D)

±0.02D (0~4.5D)、±1% (4.5~
5.0D)

±0.02D (0~3.5D)、±1% (3.5~
4.0D)

±0.01D (0~5.0D)、±2% (5.0~
5.5D)、±3% (5.5~6.0D)

±0.01D (0~4.5D)、±1% (4.5~
5.0D)

±0.01D (0~3.5D)、±1% (3.5~
4.0D)

±0.02D、±2% (0~5.0D)

8 時間ごとに最大 ±0.02D

1 年ごとに最大 ±1%

2 分 (U.V. = 5 分)

ANSI PH 2.19、ISO5/2 に準拠

パラメータ	仕様
イルミネーション	0 度
照明収集	拡散表面
アパーチャー角度	
入射光	約 75 度
測定面積直径	1、2、3mm
	オプション 0.5mm、パーツ番号 319-40-005
反応	
整色性	X-RITE Ortho
紫外線	X-RITE U.V.
ビジュアル (オプション)	X-RITE Visual
照明光源の色温度	約 2,850K
IR 感度	D > 4.0 (U.V.)
環境妨害	D 減少 < 25%
インターフェース	双方向
	シリアル RS-232-C DTE
ポーレート	300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600
電圧条件	T 90-130VAC、50~60Hz TX 180~260VAC、50~60Hz
電源条件	最大 80VA
操作相対湿度	≤76%
操作温度範囲	+10° ~ +40°C
保存温度範囲	-20° ~ +50°C
寸法 (高さ × 幅 × 奥行き)	[cm] 15.2 × 33 × 43.5
総重量	[kg] 8.64
重量	[kg] 7.95
安全性	UL 3101-01 C22.2, No. 1010-1-92
高度	2000m
IEC 664	汚染度 2
インストール タイプ	カテゴリ-2
用途	屋内のみ
FCC	Part 15, Class A, Digital Device
Industry Canada	ICES-003 Issue 2, Revision 1
International	EN50081-1:1992 Class B Generic Emission Standard EN50082-1:1992 Generic Immunity Standard

仕様およびデザインは猶予なしに変更することがあります。

オプション器具

361T 透過製品と併用可能な 361 反射ヘッドには 6 つの機種があります。

機種 361G-06	G および T 反応付き反射濃度計、 3.4mm アパーチャー
機種 361GS-06	G および T 反応付き反射濃度計、 1.7mm アパーチャー
機種 361G/LP-06	G および T 反応付き反射濃度計、 3.4mm アパーチャー、偏光フィルタ
機種 361E-06	E および N 反応付き反射濃度計、3.4mm アパーチャー
機種 361ES-06	E および N 反応付き反射濃度計、1.7mm アパーチャー
機種 361E/LP-06	E および N 反応付き反射濃度計、3.4mm アパーチャー、偏光フィルタ

注記：ここに表記される反射ヘッドは、必要なケーブル式、使用説明書、361T に接続するアクセサリ製品が付属しています。

G → エックスライト社の通常のグラフィックアーツ専用ワイドバンド反応を表します。ステータス T 反応に似ていますが、濃い黄色のインキに対しより感度を示します。

T → ANSI ステータス T Computerized Color Response (CCRTM) を表します。*T-Ref 基準板と併用します。

E → 黄色に 47B フィルターを使用するヨーロッパでの応答特性を表します。

N → Narrow Band Glass Interference Type Computerized Color Response を表します。この反応はコンピュータで修正されたもので、用紙のプロセスインキと使用するものです。プロセスインキ以外の測定結果は、わずかな相違が見られることがあります。

* T-Ref は GCA (Graphic Communication Association) の商標です。

インターフェースケーブル：

P/N 361-69	透過/反射用インターフェース ケーブル
P/N 361-83	DB25P から 10 サークット モジュラー インターフェース ケーブル（上記の 361-83 ケーブルに使用可能なアダプタ ー）
P/N 418-70	DB25P DCE（Null モデム）インターフ ェースアダプター
P/N 418-71	DB25S DCE（Null モデム）インターフ ェースアダプター
P/N 418-80	DB25P DTE（Normal）インターフェ ースアダプター
P/N 418-81	DB25S DTE（Normal）インターフェ ースアダプター
P/N 418-90	DB9P インターフェースアダプター
P/N 418-91	DB9S インターフェースアダプター
P/N 309-149	Whisper プリンタ用インターフェース ケ ーブル
P/N 309-249	セイコープリンタ用インターフェース ケ ーブル

オプチクスアセンブリ：

P/N 361V-23	ビジュアル/U.V. オプチクスアセンブリ
-------------	-----------------------



ビデオジェット・エックスライト株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田2-30-4 BR 五反田7F

Tel (03)6825-1641

Fax (03)5436-1616

エックスライト社 米国本社

米国ミシガン州グランドラピッズ

Tel (+1) 616 803 2100

Fax (+1) 616 803 2705

エックスライト社 ヨーロッパ

スイス レーゲンズドルフ

Tel (+41) 44 842 24 00

Fax (+41) 44 842 22 22

各地域のお問い合わせ先は www.xrite.com でご覧いただけます。